

みなみいせ 2011



18号

2011.3.1

議会だより



主な内容

平成22年第4回

12月定例会……………2～3

一般質問……………4～9

もう一度元気なまちに…10～11

絶景スポットほか ……12

おもちつきしたい人！

はい

ボクも

ワタシも

(五ヶ所園)

発行／三重県南伊勢町議会

〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057

編集／議会広報特別委員会

第4回定例会開催される

平成22年南伊勢町議会第4回定例会が12月13日（17日の5日間にわたり開催されました。

第3回定例会において委員会付託された平成21年度各会計決算案件12件が各常任委員長より報告があり、すべて認定されました。

議案第86号 南伊勢町医療対策特別基金条例の制定について
あらたに生じた土地の確認について
工事請負契約の締結について

議案第87号
議案第88号
議案第89号
議案第90号
議案第91号

平成22年度南伊勢町一般会計補正予算（第5号）
平成22年度南伊勢町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）

議案第92号
平成22年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第93号
平成22年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第94号
平成22年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

議案第95号
平成22年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算（第3号）

議案第96号
平成22年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）

議案第97号
平成22年度南伊勢町上水道事業会計補正予算（第3号）

議案第98号
平成22年度南伊勢町病院事業会計補正予算（第1号）

議案に対する主な質疑は次のとおりです。

南伊勢町医療対策特別基金条例の制定の目的は

問 議員 基金を設置する目的は。

答 町長 過疎地域自立促進特別事業終了後の医療確保対策経費の財源に充てるためである。

公有水面の埋立てにより新たに生じた土地の確認

問 議員 中津浜浦の埋立てした土地の所有者は。また、管理者は。
答 建設課長 土地所有者は三重県で、管理者は地元である。

調査基準価格とした理由は

問 議員 最低制限価格でなく調査基準価格とした理由は。

答 上下水道課長 工事設計額が5000万円以上の土木工事については低入札価格調査対象工事となり、基準価格になる。建築工事については、1億円以上が対象となる。



すばらしい風景の中津浜浦埋立地

迫間浦コミュニティ施設補修工事とは

問 議員 設計段階で不具合があったのか。また、別件で不具合があったのか。

答 総務課長 施設の改修ではなく、隣接地との土地の境界を明確にしてほしいということとフェンス等で区切をするための補修工事である。

子宮頸がんワクチンの取り組み

問 議員 予防接種の対象者と、助成額は。

答 福祉課長 当町では、中学1年生から高校3年生が対象となる。基本的には無料で予防接種が受けられる方向で医師会と調整をしている。接種が受けられる医療機関は、町内にある。

木造住宅耐震補強工事の補助金は

問 議員 耐震補強工事額200万円での補助金は。

答 総務課長 国からの補助が53万円、県町の補助が各30万円、合計113万円という補助金が出る。ただし、補強工事の設計を踏まえたうえで、耐震基準をクリアできると認められた部分のみ補助金が出る。



補修が急がれる迫間浦漁港県単改良事業箇所

迫間浦漁港県単改良事業とは

問 議員 この事業内容は。
答 産業振興課長 迫間郵便局から国道側へ200メートル間、吸出し等による陥没箇所の改良事業である。

ふるさと納税
寄附金は

問 議員 74万4千円寄附があるが、何件分か。

答 行政経営課長 ふるさと納税については、11月11日現在で30件いたっている。

特定健診の
受診期間は

問 議員 特定健診の受診期間は。

答 住民課長 医師会で期間を定めていて、7月から11月の5ヶ月間になっている。

中島地区簡易水道改良
整備事業の住民説明は

問 議員 地域住民への説明は。

答 上下水道課長 地域住民への事業内容の説明と協議をしているが、きめ細かな対応をもっとしていきたいと考えている。

国保医療費の
減免制度はあるのか

問 議員 生活困窮者のための国保医療費の減免制度について当町では、この条例はあるのか。

答 住民課長 この条例の制定はない。3割負担の減免は財政的にも厳しいものがあり、近隣市町村の動行を見て考えていく必要がある。

神前浦地区
下水道加入率は

問 議員 神前浦地区の下水道の供用が22年4月から開始された。今現在8ヶ月経って加入率は、どれくらいか。

答 上下水道課長 対象件数は340世帯で157世帯が接続の申し込みをしている。加入率は46%である。



すべり出しが順調な神前浦地区下水道最終処分場



下水道事業の設計変更があった南海地区

下水道事業の
設計変更の理由は

問 議員 設計変更が必要となった理由は。

答 上下水道課長 南海地区の下水道事業は迫間浦地区を抜いた部分で計画変更をした。そのことにより、基本設計から詳細設計すべてやり直した。これが設計変更が必要となった理由である。23年度内の完成を目指す。24年度からの供用開始は予定どおりである。

情報公開個人保護
審査の9万円とは

問 議員 新たに審査会に9万円上がることは、何らかの請求があったのか。

答 行政経営課長 請求はなく、12月から3月の予算確保である。

病院事業会計補正予算
264万7千円は

問 議員 この補正額の使い道は。

答 病院事務長 レセプトのコンピュータ化をし、支払い基金など国保連合会にコンピュータ上のデータで申請をしなければいけなくなり、3月末までに機器等を導入するものである。

諮問第3号

「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」

本議案は、人権擁護委員任期満了に伴い次の者を人権擁護委員として推薦したいので人権擁護委員法第6条3項の規定により議会の意見を求めるものである。

住所 南伊勢町相賀浦 162番地

氏名 河口 敬

生年月日

昭和17年6月18日

審議の結果、諮問のとおり答申することに決定した。

発議第5号

食料自給率向上と地方の主産業である農林水産業を守るために、TPPへの拙速は参加表明を行なわないことを求める意見書が可決され国宛に提出された。

岡 本 眞



教育振興の
果たす役割は

問

人間形成のうえで、教育の果たす役割は重要である。少子化の中、過疎対策に伴う教育振興策は。

答

・教育長 町内の小・中・高校がそれぞれ連携を深め、様々な取り組みを行なっている。特に中高一貫教育では「郷土を愛する心を育てる」を目標に、南伊勢高校が魅力ある地域の高校を目指し、生徒の就職活動を町の事業として進めている。

政策提案は
町政に活かされて
いるのか

問

本年度の定例会で、多数の提案があったが、その後どのように検討されたのか。

答

・総務課長 それぞれ各所管の課で、町長の指示のもと検討中である。総務課としては、議員より提案があった、役場内での女性登用についても、適材適所を踏まえて管理職の登用も含めて積極的に図っていく考えである。



町の活性化を目指し！

キーワードは
意識改革

問

元気な町づくりは、住民と行政が力を合わせる事が不可欠。協働しての町づくりには、行政側の意識改革が必要と考えるが。

答

・町長 役場がより町の仕事をやる組織に変わる必要があると考えている。職員を地区担当とし、地域の中でいっしょに考え、体感し、地域づくりを町民目線で実践できるようになればと考えている。



町政説明会のようす

山 本 芳 隆



宿 浦 を
津波から守れ

問

宿浦区お池の防潮用水門新設についての進捗状況は。

答

・町長 現在、県への要望を継続中で、早期事業化に向けて進めている。進捗状況は、施設の概略構造設計の調査を行なっており、今後、水産庁をはじめとする各種関係機関と事業化に向けて協議を行なっていく予定である。

独居老人の
安心・安全

問

独居老人の安否確認を取るシステムの緊急通報装置の貸与については。

答

・福祉課長 貸与の対象は、一人暮らしの高齢者で非課税世帯の方が条件となっており、現在26名の方が利用している。

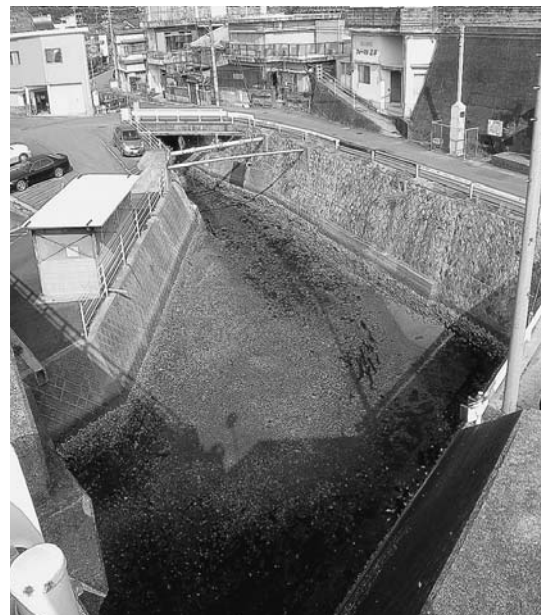
介護保険利用
度の格差問題

問

介護保険法の特例居宅介護サービス費支給の不可について。

答

・福祉課長 法律では特例居宅介護サービス費の条件が満たない場合でも、町が必要と認めれば可能である。但し、課題として、施設介護と在宅介護のサービス利用度の格差等の問題は、今後も介護保険制度の中で、最善の方法を考える必要がある。



宿浦区 お池付近

上村 康 廣



高校入試と 通学問題

問 南伊勢高校南勢校舎の募集減に伴う、町内中学生の志望数と、

度会校舎への通学状況は。

答 **教育長** 南勢校舎へは南勢中から28名、南島中から1名、西中から3名。度会校舎へは南勢中は0で、南島中・西中から各3名が志望。現在、度会校舎への通学は南島地域のみ6名で、川口のバス停から自転車通学している。通学方法についての改善を検討中である。



度会町 川口バス停



南伊勢高校 南勢校舎

町政の今後の 取り組みは

問 新年度の予算編成にあたる中で、町長の考える諸問題と今後の展望は。

答 **町長** マニフェストをもとに町政刷新、健康、未来、安全、安心、地域産業の活性化、国道260号の整備を掲げて町政運営を行なってきた。また、町政説明会を通じて、更にこれらの課題への取り組みが必要と考えている。

澤村 圭 也



徹底した道路の 整備管理を

問 10月9日豪雨災害で、国道260号線南海園付近が通行止めになったが、町としての管理状況は。

答 **建設課長** 以前にも同様の通行止めとなり、対策として県により排水柵を付けてもらった。今回は時間雨量120ミリという想像以上の豪雨被害であり、再度、県と再発防止対策を協議し検討する。



第1回 町民体育大会

町民体育大会 の継続は

問 初めての町民体育大会が盛大、無事に終わったが、今後の開催予定は。

答 **町長** 実行委員会をはじめ、皆様にご尽力いただき、盛大に開催できたことに感謝している。初めての開催で、たくさんのご意見・ご指摘をいただいたが、それらを参考に改善を行ない、文化の育成、町民の一体感を高める目的で、来年度も実施したい。



通行止め被害があった南海園前

中山 盛



行政機構 見直しの考えは

問

平成20年に前町長が大規模な行政改革をされ2年半経過し、成果と現状を見極め行政機構の改革の見直しを図る時期ではないかと考えるが。

答

町長 現在、新しい総合計画の策定に取りかかっている。実施のために組織の見直しもあろうかと思う。このような観点に立って今の組織機構の検証を行なっていきたいと考える。

有効な活用の 施策は

問

東宮資料保存館の運営に関して現状を踏まえたうえで有効な活用の施策は。

答

教育長 河村瑞賢 ゆかりの地を巡る地図を作成し保存館にも常備していく。多くの方々に入場していただけるよう愛洲の館との連携も図りながら、各種催し物ができるように検討していきたいと思っている。



本町の歴史資料館の一つ 東宮資料保存館

畑 芳弘



高齢者の 医療受診

問

厚労省が提示する無医地区は本町にはあるのか。また医療受診するのに最も時間がかかる地区はどこか。

答

町長 厚労省が定義する無医地区は本町にはない。医療受診するのに最も時間がかかる地区は、距離で見ると南海地区ではないかと思う。今後、バスの利便性を図っていくことを視野に置き対応していく。

現場の苦悩

問

各地区の地場産業、特に水産業が今遭遇している状況について町執行部は把握し体感しているか。

答

町長 漁業をはじめとすると一次産業が長期にわたって厳しい経営状況になっていることは十分認識しており、地域産業の振興は町政の重点課題でもある。組織力の充実強化を、人材育成も含めて検討をしていきたいと考える。



約1時間かけ通院する住民

すばらしい 自然景観の町

問

町内固定資産の開発に対して私有地でも資源保全の観点から町として景観尊重、外形変更、使用目的の規制等による法、条例で担保していくべきだと思うが。

答

町長 本町は、自然景観のすばらしい町であり、山林開発について法律による規制や町の条例による届け出や協議の中で、地元からの情報や意見を聞き的確に対応し、本町の自然環境を守っていきたい。

手塚 征男



鳥獣害対策の
状況

問 どのように調査や検討が進められたか、報奨金の支払いの改善、駆除した処分方法について聞きたい。

答 産業振興課長 11月から申請において何点か改正された。報奨金について駆除頭数が予算を上回った場合、単価を確保したいことから補正予算をお願いする必要があることもあるので、3月議会終了後、支払いを検討している。

駆除した獣の処分方法について施設に関して県の獣害担当部署とか広域連携の話の中で、補助金の創設、広域で施設の建設等ができないか話をさせていた。有効利用については、なかなか進展していない状況である。

戸別受信機の利用

問 戸別受信機を活用したくてもできない高齢者への設置は可能なのか。

答 総務課長 平成20年から設置させてもらっており、本町に住民登録をしている世帯1世帯につき1台を無償貸与するという基準を設けて設置してきている。町内の約9割に設置させてもらっている。活用できない高齢者については把握していない。



災害時に効果を発揮する戸別受信機

岡田 和夫



保健・医療・介護
一体化にした
体制づくり

問 来年から、保健・医療・介護を一体化にした体制づくりを目指し取り組んでいただきたいと思うが。

答 町長 マニフェストの中で地域医療の確保・介護の充実を最優先課題として取り組むことを掲げ、実施に向けて努力している。現在、行政、病院、包括支援センターでビジョン作りに取りかかっている。実現可能な案に仕上げていき、体制作り等にも取りかかっている。

9月議会での
検討事項

問 人間ドック、家族介護慰労金、土曜日の役場窓口開設についてどうなっているか。

答 町長 人間ドックは希望者が定員を上回り、受入機関と受診者の増員について調整中である。

土曜日の役場開庁について、近隣市町の聞き取り情報収集等を行なっている。住民サービス向上のため時期、方法、体制等の詳細について関係各課で協議し準備が整った段階で試行的に実施していきたいと考えている。



南勢庁舎窓口

答 福祉課長 家族介護慰労金は、町単事業で財政の負担の面も考え、また格差を縮めることについて介護保険制度の中で最善の方法を考えていかなければならない。来年度については、具体的には決まっていない。

山本周也



防犯への 行政の対応は

問

防犯対策をしたい地区に行政としてカメラ等を貸与する事業はできないか。

答

町長 行政でなければ対応できないものであれば相談に応じたい。

町政の課題と 展望は

問

町長として、この一年間の課題と展望は。

答

町長 大きく分けると若者定住、高齢化社会への対応、生活の安全・安心、それらを支える産業の振興と国道260号の早期整備促進に取り組んでいかなければならない。

臨時職員の 賃金のあり方

問

小中学校の臨時調理員の賃金について見直しを検討するべきではないか。

答

総務課長 正職員と臨時職員では雇用形態が異なり、評価判定は難しいが労働環境全般については検証し必要であれば改善する。

田中喜一郎



火葬場の整備

問

火葬場の整備計画は。

答

町長 3つの火葬場があり中には老朽化が激しい所もあり、過疎計画にものせており、早い段階で整備計画を作りたい。

町営バスの 運行

問

町営バスアンケート調査の内容分析の進捗状況は。

答

環境課長 2000検体アンケート、乗降調査、車内アンケート、南伊勢高等学校生徒アンケートの4項目で実施。現在集計中で全てが出揃い次第内容分析を行う。

障害者福祉

問

当町の支援計画と町民への周知の方法は。

答

福祉課長 障害者福祉計画では①障害者の就労支援体制の強化と促進、②地域における障害者の居住の場等の確保、③相談支援の充実と利用しやすいサービスの提供、④精神障害者の長期入院から地域生活への移行促進を計画して掲げている。サービスとして自立支援給付と地域生活支援事業の2つに分類される。



国道260号 槌柄浦から賛浦間開通



五ヶ所火葬場の現状

掛橋 靖



地震災害対策

問

①南島庁舎の耐震能力、②同舎の避難場所としての機能、③同舎の耐震工事計画、④公共施設からの避難方法、⑤紀勢広域南島分署の対応、⑥吉津地区の避難施設設置計画の項目について聞きたい。

答

総務課長 南島庁舎は耐震基準を満たしてはいるが、避難場所として指定されていない。耐震補強工事の計画を予定している。公共施設それぞれに防災計画を作成している。南島分署は災害発生時には震災警戒体制をとり情報収集等の実務にあたる。新たな避難施設設置の計画はない。

豪雨災害対策

問

10月9日の豪雨の各地区の被害状況、当日の行政の対応、被災地区の災害発生要因、及び分析内容を聞きたい。

答

総務課長 床上浸水1件、床下浸水2件、河川決壊7件、道路決壊5件等であった。災害対策本部を立ち上げ警戒体制をとり情報収集伝達をし、翌日に被害状況の確認にあたった。記録的豪雨であったが人的被害はなく、さらに初動体制の強化に取り組む。



南島庁舎耐震対策は？

西 則孝



再生プランはいかに

問

人口減少の推移と行政運営への影響は。

答

町長 地区の出合となるなどの集落機能の低下、高齢化が進み介護医療費の増大、地方交付税の減収等の財政的影響が予想される。

問

人口減少の原因は。

答

町長 若者の雇用場の少ないこと、子供の教育、進路に関する諸問題、住環境（住宅、買い物、医療介護）などがあると思う。



町政報告会

問

再生プランの考え方の中で①町政説明会の意見集約、②町政刷新委員会のまとめ、③総合計画の作成と考える④具体的な産業振興プランを聞きたい。

答

町長 町政報告会での意見、提言を取りまとめている。町政刷新委員会のまとめはホームページに公表している。それを町の指針としたい。総合計画は町民が誇りと希望を持ち、住み続けられる町を創っていくための計画として町民の意見をいただきながら作成していきたい。産業振興プランとしては農業水産業では、遅れていたソフト事業に取り組みが必要と思う。観光、第3次産業については6次産業化を進めていきたい。

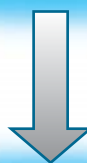
もう一度元気なまちにしたい！

私達は考えた

議会として出来る事は



活性化を考える活動しよう



9月定例会で地域活性化
特別委員会の設置が全会
一致で可決される

取り組み方は、方向性は



自発的に活性化に取り
組んでいるグルー
プがある事を知る

6名の委員が選ばれ、2回委員会
をもち、真剣に協議をする

延べ55時間

昼夜を問わず行なわれた

活性化グループとの懇談会 20回
経済団体との懇談会 4回

点と点を結んで線に

皆さん、その節は
たいへんお世話になり
ありがとうございました

発見したこと

1. 南伊勢町には甦る力がある
人間力、人の動力にあふれている
2. 歴史・文化・環境面で他に比類なき魅力がある

共通する課題

1. 後継者の問題
2. 販路の拡大
3. 異業種交流
4. 情報発信
5. 環境アセスメント
6. 働き手の望む環境づくり
7. 女性の参画

議会の新しい取り組み

このまちにとってどんなまちづくりが
望ましいのかしっかりと見極めたい



雨ニモ負ケズ *challenge*

私達議会は全員で



行政への報告と懇談会

町長からは
称賛をいただく

幹部職員は
どう受け止めた
でしょうか



経済団体の皆さんと 合同懇談会(4団体)

色々な議論が
ありました



活性化グループの皆さんと 合同の懇談会

会の進め方など
たいへん参考に
なりました

2月10日までの
進行状況です

反省と今後の方針

テーマを
3つに
しぼって

地域

文化

産業

3つの
グループに分かれ
懇談会を



絆

たいせつに

線と線を結んで面に

今後の予定

1. 当町にはまだまだ活性化のために頑張ってくださっている団体があるので
その方々と懇談会を予定
2. 懇談会の開催
3. 行政との関わり方について検討
4. 行政への提言

私達議会は

行動的な議会を目指しています
住民の皆様のご意見、ご助言を是非お寄せください

絶景スポット



五ヶ所湾 奥深い入り江が美しい湾で、真珠養殖の筏風景やあおさの養殖風景は、南伊勢の風物詩。



ニラハマ展望台 古和浦の山の中腹に設けられた展望台。岩場に立つ白い灯台や、鳥たちが舞う静かな海景に癒されよう。



相賀ニワ浜 内側に海跡湖・大池を持つ長い砂浜で、南海展望台からもその美しい景色を見ることができる。



遊歩道を歩くと、美しい植物や野鳥に出会えるかも。

南海展望公園

ユニークな像が眺める先には、限りなく広がる太平洋。その左側には五ヶ所湾を眺めることができる。

鵜倉園地

4つの展望台からは、リアス式海岸の美しい眺めを様々な角度から楽しむことができる。



かさらぎ展望台



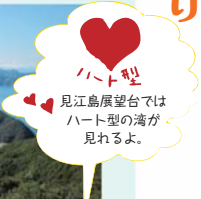
あけぼの展望台



橋展望台



見江島展望台



ハート型
見江島展望台ではハート型の湾が見えるよ。



親子大橋

緑の山と青い海に朱色の美しいアーチ型の橋が絶妙にマッチ。ぜひ渡ってみて。



中ノ磯展望台

鰐湾を真っ赤な太陽が染める中ノ磯展望台からの眺めは、訪れる人を魅了してやまない風景。



第2回 クイズ みなみいせ

問1 電の神事は、歴史のある行事ですが、当町にあるのは何地区？

- Ⓐ 6 Ⓑ 7 Ⓒ 8

問2 旧町時代にサンベルトトライアスロン大会が行なわれていましたが、一大会でのボランティアの数は？

- Ⓐ 600人 Ⓑ 750人 Ⓒ 1,000人

問3 伊勢神宮に昨年訪れた参拝客は？

- Ⓐ 500万人 Ⓑ 700万人 Ⓒ 882万人

応募方法

はがきに「答・住所・氏名（ふりがな）・年齢」を記入してください。議会への意見等もありましたらお書きください。正解者多数の場合は抽選で10名の方（前回正解者がありませんでしたので今回は2回分）に図書券をお送りします。

〈あて先〉〒516-0194 南伊勢町内議会事務局宛（しめ切）平成23年3月末日

※ご記入いただきました個人情報は他の目的には利用いたしません。

議会を傍聴しませんか

3月定例会は、年4回開催される定例会のうちでも、次年度予算を審議する議会です。是非傍聴してください。（当日、議会事務局で受付をすればOKです）

定例会開催は3月4日から23日、一般質問は、3月15日・16日を予定しています。

議会広報特別委員会

委員長	松葉 和久
副委員長	掛橋 靖
委員	岡本 眞
委員	畑 孝充
委員	芳弘

議長 上村 久仁

議会だよりについてのお問い合わせ等は、議会事務局までご連絡ください。
☎ 0599-661781

春の足音聞こえる、そんなまちにして、みんなが明るく、楽しく、元気に暮らせるまちにしたいと、誰もが願っています。頑張ります。議会だより、ご期待ください。ご意見お待ちしております。

夏がとても暑かったのに、冬も暖かいと思っていたら、やはり冬は寒かった。

編集後記

